



最上エコポリス通信

2017年8月号

— mogami ecopolis tsushin —

山形県最上総合支庁

平成29年度第1回最上地域議員協議会が開催されました

7月14日（金）最上総合支庁講堂において、管内4名の県議会議員が最上地域における課題や施策の展開に関する調査・審議を行う「最上地域議員協議会」が開催されました。

石山健一最上総合支庁長から、「最上の人材育成地域定着促進」「最上地域の観光振興」「最上小国川流水型ダムの上り状況」等の主要な施策について説明が行われた後、各議員から質疑がなされ、活発な意見交換が行われました。



総務課 29-1211

【質疑の主な内容】

- ・高齢者の交通事故発生状況と事故防止対策、免許返納状況について
- ・NIE（新聞活用学習）支援とその効果について
- ・熱中症の発生状況と予防対策について
- ・最上地域政策研究所の取り組み状況について
- ・新庄まつりを絡めた観光振興について
- ・保育士の処遇改善について

平成29年度知恵袋委員会開催

7月27日（木）、最上総合支庁講堂において、様々な場面で活躍いただいているこの地域の先輩方の知恵や知識を県政に反映するため、「知恵袋委員会」を開催しました。最上8市町村在住の委員8名と、石山健一最上総合支庁長をはじめ、支庁幹部8名が出席し、住民が安心して生き活きと暮らせる地域づくり、地域産業の振興、文化等を通じた地域への愛着や誇りの情勢の3テーマで意見を交わしました。いただいた意見を今後どのように施策に活用していくか検討していきます。主な意見は次のとおりです。



- 若者の定住対策として大学で学んだことを活かせる雇用の場の確保や大学の学部の誘致などできないか。
- 農業後継者不足の一助として農業用ロボットの導入を推進してはどうか。
- 県指定の民俗文化財「鮭川歌舞伎」・「黒森歌舞伎」・「山五十川歌舞伎」の地芝居三座が一同に会した特別公演を開催してはどうか。

総務課 29-1210

小学生が一日知事を体験 子ども知事室

7月25日（火）、31日（月）の2回にわたり、山形県庁で「子ども知事室」が実施されました。山形の未来を担う子ども達が吉村知事との交流や「一日知事」を体験することによって、県の仕事に関心を持ち“ふるさと山形”に対する理解を深めました。



最上地域からは、小学校5、6年生の児童が各回2名ずつ参加し、吉村知事から一日知事の辞令を受けました。吉村知事との会談では、「つや姫の完成までどのくらいの期間と人がかかっているのですか。」「将来アナウンサーを目指しているのですが、どうすれば知事のように上手に山形県をPRできるか教えて欲しいです。」など、子ども達からたくさんの質問があり、吉村知事から一つ一つ丁寧に答えていただきました。その後、農業総合研究センターや工業技術センターを見学し、本県の先端的な農業や工業について学びました。

総務課 29-1360



ユネスコ無形文化遺産「新庄まつり」特別プロジェクト



今年は、「新庄まつり」がユネスコ無形文化遺産に登録されてはじめての「新庄まつり（8月24日～26日）」が開催されます。たくさんのお客様が、ここ、最上地域にいらっしゃるものと期待しています。

そこで、新庄まつりの観光客の皆さんが増えることに伴う経済効果等の恩恵を、最上地域全体で享受できるように、最上地域の行政、商工、観光、温泉旅館、輸送等に関わる関係者が一堂に会し、「新庄まつり 特別プロジェクト会議（第1回）」を、7月11日（火）に

開催しました。会議では、各種取組み状況について意見を交わし、新庄まつりを活用し、最上地域一丸となって新庄まつりを盛り上げ、地域経済の活性化に向け取り組むことを確認しました。

また、今年度の新しい取組みとして、新庄まつりの魅力向上を図るため、山形県料理飲食業生活衛生同業組合新庄支部で「新庄まつり弁当」を企画・販売することとし、その試食・検討会を、7月26日（水）の総合支庁長と記者との懇談会の中で行いました。

「新庄まつり弁当」は、新庄まつりに訪れる客人をもてなすため、各家庭の女性たちが心をこめてつくるおもてなし料理「まつりごっつお」（「からかい煮」「昆布巻きニシン」

「とりもつ煮」「しそ巻き」など）を中心にしたメニューで、1,500円で販売されます。弁当と合わせて、各家庭での女性達の姿を描いたエッセイ「もうひとつの新庄まつり」もお楽しみいただけます。是非、お弁当を食べながら市井のまつり風情を感じてください。予約販売となります。指定の用紙によりFAXで申し込みください。

（申込先：山形県料理飲食業生活衛生同業組合新庄支部事務局 山葵家 電話 0233-23-4820）



また、今年度の、8月24日（木）には、新庄まつりに合わせて、仙台駅から臨時列車「みのり新庄まつり号」が新たに運行されます。そこで、JR仙台駅で、最上地域の市町村キャラクターと一緒に、チラシを配布して、今年の新庄まつりや最上地域の夏の観光PRを大々的に行いました。

是非、新庄まつりには、最上地域にお泊りでお越しくください。

観光振興室 29-1311

平成29年度最上地域牛枝肉共励会及び表彰式

7月3日（月）、山形市中野の㈱山形県食肉公社において、平成29年度最上地域牛枝肉共励会が開催されました。

最高賞のチャンピオン賞には山口登氏（最上町）が出品した去勢牛（枝肉重量：520kg）が選ばれ、4,900円/kgで落札されました。なお、出品牛26頭の平均落札価格は2,749円/kgでした。

同日、新庄市「大地会館」で表彰式が行われ、審査講評では、今回の出品牛はA-4等級以上が全体の96.2%とレベルの高いなかで、チャンピオン賞の枝肉は肉質と肉量に優れ、全体のバランスに優れていたと評価されました。本会の開催により、最上地域で生産された「総称山形牛」の名声が高まる事が期待されます。

農業振興課 29-1318



水稻新品種「雪若丸」栽培研修会開催

7月4日（火）に、大蔵村沿海地区の「雪若丸」栽培圃場で開いた研修会に、管内の水稻生産者及び関係者約30名が参加しました。来年度から本格的に栽培が開始される「雪若丸」は新しい食感であること、栽培しやすいことも、生産者に注目されています。研修会では、「雪若丸」の栽培管理について、生産者同士の情報交換が盛んに行われました。今後とも最上地域がいきいきとなるよう最上から元気な「雪若丸」のブランド化に取り組んでいきます。

農業技術普及課

29-1331



SHINJO・MOGAMIジモト大学 ついに始動!

7月24日(月)、SHINJO・MOGAMIジモト大学第一弾「高校生と大人と一緒に考えよう! 若者の夢がふくらむ町ふながた」が舟形町役場で開催されました。この事業は若者の地元回帰を促進するため、地域の本気の大人との「対話」の場を創出し、当事者意識を身に付け、地域への貢献意欲を育むため、今年度より開始しました。舟形町在住の大人10名と高校生9名が①「国宝縄文の女神」を活用した地域振興、②町の公共交通のあり方の2テーマを話し合いました。「土偶文化の素晴らしさをもっとPRすべき、SNSを使ってはどうか?」「高齢者にとって公共交通は必要不可欠と分かった」など、活発な意見交換、アイデアが出されました。ジモト大学としてこれから10プログラムを順次開催していきます。

総務課 連携支援室 29-1239



県立神室産業高校生徒による あけびさわばし 通草沢橋(歩道下り)架設工事現場見学

7月20日(木)に県立神室産業高校環境デザイン科土木コースの生徒を主な対象に、舟形町長沢地内の歩道橋橋桁の架設工事見学会を開催しました。

県民の生活に欠かせない橋を大切に感じてもらうとともに、地元の若者が、地域を創り、支えるイン



フラの整備や、これを築く建設業の仕事について知る良いきっかけとなることを願っています。

建設総務課

29-1391

中高生を対象に医療に関する 体験学習・見学会等を行いました!

八向中学校2年生の体験学習(薬剤師・看護師・作業療法士) (H29.7.5)



高校生対象の医療職座談会(医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士) (H29.7.10)

新庄徳洲会病院での高校生対象の医療現場見学会 (H29.7.24~25)



保健企画課 29-1258

「升形川灯籠流し」における がん検診受診向上と糖尿病予防啓発

例年恒例の灯籠流しが行われました。新しい取り組みとして、胃がんの啓発シンボルのペリウインクルリボンデザインした灯籠を作成し、全国的に高い最上地域の胃がん死亡率について周知活動をし、がん検診受診向上を呼びかけました。

また、糖尿病の啓発カラーのブルーを基調とした灯籠も作成し、健康への願い事を書いてもらいました。



地域保健福祉課 29-1267

～最上地域みんなで子育て応援団～

*MOCO マルシェ の開催

7月22日(土)ゆめりあ「花と緑の交流広場」で、最上地域みんなで子育て応援団事業～moco マルシェ～を開催しました。約170名の親子の参加者は、歌のコンサートや読み聞かせ等の多彩な体験コーナーで楽しみました。



子ども家庭支援課

29-1245

女性・若者のためのナリワイカレッジ

7月1日(土)～2日(日)、新庄市民プラザにおいて、最上管内での創業を目指す女性・若者を対象に、好きなことや特技を活かして起業するための基礎を学ぶセミナーを開催しました。セミナーでは、女性起業家ネットワーク「わくらく」代表の三根早苗氏を講師に、具体的な起業事例を紹介いただきながら、事業計画やマーケティング、商品づくり、会計などを学びました。



このセミナーは、最上地域雇用創造推進協議会が、創業起業による最上地域の雇用創出を目指して開催したもので、22名が参加しました。参加者からは、「自信を持ってスタートする決意ができた」「創業をやり遂げたいと思った」といった感想が寄せられました。

地域産業経済課 29-1309

トークセッション！！もがみ女子の暮ら仕事 地元就職ってどんな感じ？～暮らしのこと、仕事のこと～

女子高校生に地元就職のイメージを持ってもらうため、7月19日(水)に新庄神室産業高等学校で、地元企業で働く女性社員と女子高校生のトークイベントを開催し、2年生の女子生徒39名が参加しました。第一部では、製造業や建設業等で働く女性社員5名を事例発表者に、地元就職した理由や、仕事のやりがい、休日の過ごし方などをお話してもらいました。第二部では、事例発表者を囲んでグループとなり、活発な質疑応答が交わされました。



終始和やかな雰囲気、参加した高校生からは「県外だけでなく最上地域にもいい企業があることを知った」といった感想が寄せられました。

地域産業経済課 29-1309

お知らせ

最上地域みんな子育て応援団

新庄まつりにおける「おむつ交換スペース」として、下記のとおり開放します。御自由に御利用ください。

【日時】 8月24日(木) 17:00～20:30
8月25日(金) 9:00～20:30
8月26日(土) 9:00～17:00

【場所】 moco's room (スタイルハート1階)
新庄市本町1-7

【利用料】 無料 子ども家庭支援課 29-1245

はいつとう！もがみ情熱市場の開催について

【日時】 平成29年8月24日(木) 3:00～21:00
平成29年8月25日(金) 9:00～15:00

【場所】 きらやか銀行新庄支店駐

最上の味覚特産品が会場いっぱい！

地域産業経済課 29-1307



事業承継セミナーの開催について

【日時】 平成29年8月9日(水) 18:00～20:00
【場所】 ベルフォール新庄玉姫殿
【テーマ】 事業承継の進め方
～子どもへのバトンタッチ～
【講師】 新日本有限責任監査法人金融部パートナー
公認会計士 久保澤 和彦 氏
【参加費】 無料
【申込期限】 平成29年8月4日(金)

地域産業経済課 29-1307

最上传承野菜フェア開催中！



7月29日(土)～8月31日(木)
内容：管内の飲食店、旅館、産直施設等26店舗で最上传承野菜の限定メニューの提供などを実施。豪華景品が当たるスタンプラリーも行っています！

農業振興課 29-1316

発行日：平成29年8月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。

